定義 約数関数 $\tau(n)$

$$\tau: \mathbb{N} \to \mathbb{N}, \quad \tau(n) = \#\{d \in \mathbb{N} \mid d$$
は n を割り切る \ (1)

定義 約数の合計 D(x)

$$D: \mathbb{R}_{\geq 1} \to \mathbb{N}, \quad D(x) = \sum_{\substack{1 \leq n \leq x \\ n \in \mathbb{N}}} \tau(n)$$
 (2)

定理

ある関数 $R:[1,+\infty)\to\mathbb{R}$ が存在し、実数 $x\geq 1$ に対して次が成り立つ。

$$D(x) = x \log x + R(x)$$
 かつ $|R(x)| \le x$ (3)

定義 小数部分 $\{x\}$

 $x \in \mathbb{R}$ に対し、[x] を Gauss 記号とする。 $([x] = \max\{n \in \mathbb{Z} \mid n \leq x\})$ この時、 $\{x\}$ を実数 x の小数部分とし、次の式で定義する。

$$\{x\} = x - [x] \tag{4}$$

定理

ある関数 $R:[1,+\infty)\to\mathbb{R}$ が存在し、実数 $x\geq 1$ に対して次が成り立つ。

$$\sum_{n \le x} \frac{1}{n} = \log x + \gamma + R(x) \qquad \text{for } |R(x)| \le \frac{1}{x}$$
 (5)

ただし、 γ は次で定義される Euler 定数 である。

$$\gamma = 1 - \int_{1}^{\infty} \frac{\{u\}}{u^2} du \tag{6}$$

問題

1. ある関数 $R:[1,+\infty)\to\mathbb{R}$ が存在して、実数 $x\ge 1$ に対して、次が成立することを示せ。

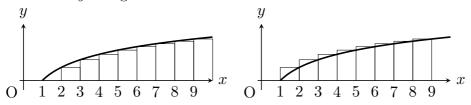
$$\sum_{n \le x} \log n = x \log x - x + R(x) \quad \text{ for } |R(x)| \le \log x + 1 \tag{7}$$

.....

左辺 $\sum_{n \le x} \log n$ は次のように書き換えられる。

$$\sum_{n \le x} \log n = \sum_{n=2}^{[x]} ((n+1) - n) \log n = \sum_{n=2}^{[x]} (n - (n-1)) \log n$$
 (8)

これは関数 $y = \log x$ に対して、縦の短冊を作りその面積の和に等しい。



問題の式を変形することで次が得られる。

$$R(x) = \sum_{n \le x} \log n - x \log x + x \tag{9}$$

$$\sum_{n \le x} \log n - x(\log x - 1) \tag{10}$$

x = 0 における $\log(x+1)$ のテイラー展開

$$\log(x+1) = \sum_{n=1}^{\infty} (-1)^{n-1} \frac{x^n}{n}$$
(11)

x = 1 における $\log x$ のテイラー展開

$$\log x = \sum_{n=1}^{\infty} (-1)^{n-1} \frac{(x-1)^n}{n} \tag{12}$$

2. ある定数 c と関数 $R:[1,+\infty)\to\mathbb{R}$ が存在して、実数 $x\geq 1$ に対して、次が成立することを示せ。

$$\sum_{n \le x} \frac{1}{\sqrt{n}} = 2\sqrt{x} + c + R(x) \quad \text{for } |R(x)| \le \frac{1}{\sqrt{x}}$$
 (13)

3. ある定数 e と関数 $R:[1,+\infty)\to\mathbb{R}$ が存在して、実数 $x\geq e$ に対して、次が成立することを示せ。

$$\sum_{n \le x} \frac{\log n}{n} = \frac{1}{2} (\log x)^2 + c + R(x) \quad \text{for } |R(x)| \le \frac{\log x}{x}$$
 (14)

4. 実数 $x, k \ge 1$ に対して、次を示せ。

$$\sum_{n \le x} \left(\log \frac{x}{n} \right)^k \le k! x \tag{15}$$

(ヒント: 微分積分学の基本定理を

$$\left(\log \frac{x}{n}\right)^k = k \int_1^{\frac{x}{n}} \frac{(\log u)^{k-1}}{u} du \tag{16}$$

という形で用いる。)